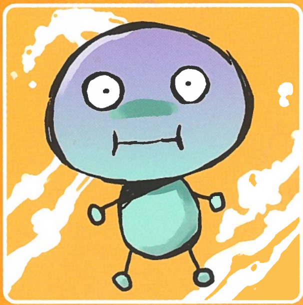

EX COMICS
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
©NBGI
3
藤村あゆみ
Ayumi Fujimura
REX COMICS
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
3
藤村あゆみ
Ayumi Fujimura
一迅社
REX 052

COMMENT



藤村あゆみ

AYUMI FUJIMURA

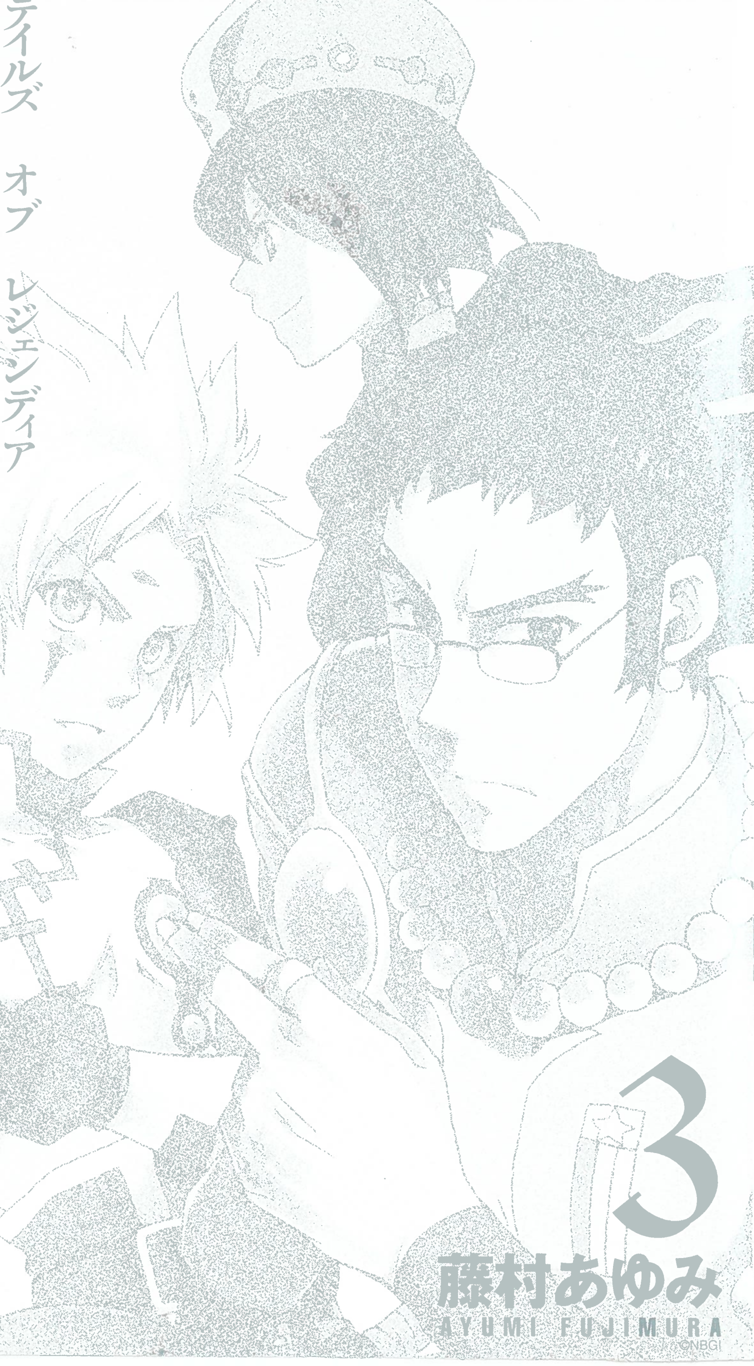
ゲームのコミカライズなのでもちろん
ストーリーは決まっているはずなのに
この先どうなるんだろうと
私自身わくわくしています。

レジェンディアのキャラクターは
どの子も一筋縄ではいかなくて
そこがまた面白くもあり、大変でもあり。

読んでいる皆様にもそれが伝わったら
これ以上ないほどの喜びです。

TALES OF LEGENDIA

テイルズ　オブ　レジェンディア



3

藤村あゆみ
AYUMI FUJIMURA

REX COMICS
テイルズ　オブ　レジェンディア
TALES OF LEGENDIA
3
藤村あゆみ
Ayumi Fujimura
一迅
REX 05


TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
3 藤村あゆみ
©NBGI

Contents

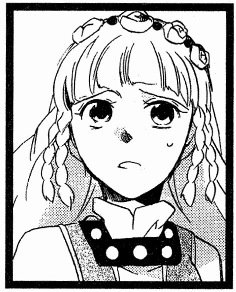



©NBGI
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
3 藤村あゆみ
AYUMI FUJIMURA

◇Characters & Story◇



◀セネル・クーリッジ
本作品の主人公で、アーツ系の爪術士。妹を狙う敵から逃れ、彼女を守るために戦っている。



シャーリィ・フェンネス▲
セネルの妹で、煌髪人。強大な力を秘める「メルネス」でもあり、それ故敵に狙われている。



ウィル・レイナード▶
灯台の街・ウェルテスの博物学者で、保安官を兼任。ブレス系の爪術士。



▶ノーマ・ビアッティ
自称・すご腕トレジャーハンター。伝説のお宝を探している。



クロエ・ヴァレンス▶
騎士の名門の出で、アーツ系の爪術士。正義感が強いが、無鉄砲な行動が多い。



モーゼス・シャンドル◀
山賊の頭。〝聖爪術〟を会得するため、シャーリィを狙うが…。



◀不可視のジェイ
有名な情報屋で、姿を見せずに仕事していたが、セネル達と同行することに。

行き違いからウィルやクロエと別行動になってしまったセネルだが、ノーマやジェイに出会ったことにより、シャーリィ救出のための認識が変化。そして再びウィルたちと協力することに。しかし、セネル達の前にヴァーツラフ軍が立ちはだかり……。



Chapter.10 メルネス



セネル
セネル
懐かしい
この声は――……
起きて――
セネル
ス――


ゴボボ
!?
ザザァァァァァ
シャーリィ!!
クロエ!!
ザザァァァァァッ
クロエ!!
クロエーッ
た…
助…っ


クロエ
こっちだ!!
だっ
誰かあ!!
……
あいつ…
たすけ…て
死ぬう…っ
おっ…
おいおいおいおい
クロエ!!
じょぼおおおおお
はあっ
はあっ
大丈夫か?
す…まない
シャーリィたちは!?
わからない…
でも大丈夫だ
水の中でも…
見ただろ?
初めて会った時



あ…
もう一人いた
あの少女もか？
たぶんな
俺達のこと
陸の民って
呼んでたから
陸の…？
ところで
クロエ
その…
初めて会った時から
…思ってたんだが…
な…なんだ――
お前って――


ピ==ン
もしかして
カナヅチなのか？
ヤッ
珍しいな泳げないなんて不便なんじゃ…
しっ
しまったあああああっ
よりによって!!
よりによってクーリッジに知られてしまうなんて!!
ああなんということだ!!
NO!!
は!?


今まで誰にも…知られずに生きてきたのに…っ
あっ 帽子
こんな失態…他人に知られて生きていくくらいなら…………
……
よっ
ぱしゃ
クーリッジ!!
お前を生かしておくわけにはいかないいっ
わあああっ
なんだ剣まで抜くなっ
なんなんだ
たいしたことないだろカナヅチなんて


えっ…
そっ そんなこと あるか！
カナヅチ カナヅチ 連呼するな!!
この年で泳げない なんて…はっ… 恥の極みだ!!
？ できないことは 仕方ないだろ…
別に恥ずかしがる ことじゃない
知られたく ないなら誰かに 言うつもりも ないし…
溺れたら 俺が助ければ いいだろ
マーリントルーパーだし
!?
ぼわっ


？
クロエ？
なっ
なんでもない！
シャーリィ達を捜すぞ！
レイナード達もだ！
もう少しで…
仕留めるところだったのに…
……そこのバカ山賊！
ワイか？
お前だ
お前っ


ほーんとタイミング悪！
なななななんじゃ!!
ワイが何したっちゅうんじゃ!?
ボタボタボタ
――あなた山賊のモーゼスですね知ってますよ
森に情報収集にいけばあなたに巣を荒らされた魔物が気を立てて襲ってきたり
お前らお宝じゃーいっ
グルルルル
前からあなたの行動はめ・ざ・わ・り！でした
遺跡調査に出かければあなた達が発動させせまくったトラップの跡に邪魔され
ザラザラ
?!
ついこの間も！シャーリィさん達を調べていたのに横入りするし!!
ヒョー
あっ
今までよくもぼくの仕事を散々邪魔してくれましたね!!
知らんわ！


そんなことより…セネル達を捜そう
ピッ
メラニィを仕留め損なった今一刻も早く合流すべきだ
そうですね
バカの相手をするだけ時間の無駄です
きりっ
オイー!
ワイのことかいっ
今の水に巻き込まれたかもしれん
シャーリィが再び奴らの手に渡ることだけは避けねばならん
さっきの話も含めてな
はっ
あの嬢ちゃんここにおるんか!?
あたしらその子を助けにきたんだよ


サァァァ
ちょっと！ついてくるよあの山賊！
ヒソヒソ…
ねーねー…
邪魔ですね
チッ
放っておけ…構ってる暇はない
クロエとセネル…あいつらだけに任せてはおけん…早く合流しなければ…
ねね今さらだけどさあんたらが
セネセネとこないだまで一緒に行動してたって人達だよね？
ムス…
……そうだが
とてて


んもーっ
空気重ーいっ!
ぱちこーんっ☆
仲間だったんでしょ!
大人気見せろよ!オヤジ!
カラカラ
だあれがオヤジだっ
殴らないでっ!!
ばっ
ガッ
これ以上鉄拳食らったら頭の形変わっちゃう!!
GUARD!!
まったく…
こんな状況でよく冗談が言えるものだ
こんな時こそバカを!ししょーの受け売りだけどね
あししょーっていうのはねあたしの
聞いとらん
聞けこらあっ!!
──っ…
子供…なのだろうな


後先考えない行動は武器にもなるが
誰かを守るためならばあれではダメだ
いつか愛する者を不幸にする
頑張ってると思うんだけどね〜…セネセネも
ま
今回はトリプルカイツが二人だったのが幸いでしたね
もう一人いたら危なかった
――!?
トリプルカイツだったのか!? …あれが…
歯が立たなかったわけだな
トリプルカイツ?


――クロエは…
スティングルと…何か因縁でもあるのか?
スティングル?
黒い仮面をつけた剣士…「トリプルカイツ」の一人だ
「烈斬のスティングル」「閃紅のメラニィ」「幽幻のカッシェル」
あいつらはヴァーツラフの腹心って言われてる「トリプルカイツ」だ
叩き上げのメラニィやカッシェルと違って あの仮面の男だけは最近入った奴だと思う


ヴァーツラフを筆頭に残酷無比なやつばかりだ
あいつらの手にシャーリィを渡すわけにはいかない
やけに詳しいんだな
はっ
……？
――いや なんでもない それより…


テレ
…礼を…
言い忘れていたな
——ありがとう
あの時クーリッジが
止めてくれなければ
私はあそこで
やられていただろう
…家族の仇も
討てぬまま…
仇…
ポタポタッ
それから
さっきも…
溺れているのを
助けてくれて
その…


……？
クーリッ…
──大変だ。
さっきの水に…
海水が混ざってるぞ!!
シャーリィ!!!
ダッ
……
はあっ
はあっ
──っく
ばしゃあ
ごめんね…
フェニモール…
はあっ


メラニィ様！メルネスが!!
――わかってるよ
――メルネス!?
もう一人の煌髪人は構わん！
メルネスだけは逃がすな！
水道内の入口をすべて塞げ！
はっ
メルネス様!?
今メルネスって言ったの!?
シャーリィ聞いた!? メルネス様…本当に――……
ぎゅ…


メルネスを探せ!
2人いるって? どっちだ
確か茶色いベストの…
く…!
…まさか…
シャーリィ・フェンネス
――うそでしょ…
祈る人…すごい誠名ね
将来を期待されてたんだろうね
あたし…メルネス様が生まれたって聞いてほんとに嬉しかったんだ


海水で体調崩すなんて
水の民なのに？
子供の頃は大丈夫だったんだけど…
立てる？
う うん… そんなに海水濃くなかったから… もう 平気…
お兄ちゃん達を捜さなきゃ
—！



……フェニモール…
お願い…
——嫌よっ!
嫌よ…
あんたどうかしてる…
やめてよ…
陸の民を「お兄ちゃん」だなんて!
やめてよ!!
わかんないの?水の民の恥よ!
見つかったか!?



長年虐げられてきた あたし達水の民が やっと救われるんだって…
仲間も死んじゃって 一人になってからも ずっとメルネス様に 祈ってた
あたし達を…水の民を お救いくださいって …ずっと…
フェニ…モール…
ガッ
それなのに あんたはっ
あたしの仲間が 次々に殺されてた 時に あんたは 何をしていた⁉
陸の民と暮らし ていただろ？ お兄ちゃんだ？
ふざけるなっ‼


あんたがグズグズしてたせいで
こっちは仲間を全員殺されたんだ!!
メルネスならメルネスらしくさっさと責任果たしなさいよ!!
お父さんとお母さんは――
こんなやつを信じて死んだっていうの――…
声がするぞ


いたぞ!!
どっちだ!!
!!!
ええい二人とも捕まえろ!!
ドッ
なっ…
——めんね


こっちだ!!
メルネスがいたぞ!!
バタバタバタ
追えっ
……
……あ!
あの子は…
大丈夫か!?


……
シャーリィが…
兵が引き上げていく…?
ジェージェーこっち!
シャーリィがそんなこと…


…ごめんね
フェニモール
ばしゃあぁっ
ゴボッ
あの子…
ガッ


……くそっ……
ワイらを助けた時と同じじゃのう…
優しい子だな…シャーリィは…
はたっ
シャンドル!?
オウ?


どうしてお前がここにいるんだ!!!
ガーーッ
あー?
おったら悪いんか!
悪いわ!!!
ゴッ
静かにせんかっ
何故私まで…


兵の姿はもう見当たりません
おそらく…
シャーリィを捕らえて撤退といったところか
そーなると「雪花の遺跡」に行くっきゃないわけだ
はっ
ばっ
セネル！
ヤッ
わあっ
ビクッ
な…なんだよ…
……
い…いや…


焦って飛び出していくのではないかと思って…な
今
俺一人で飛び出しても
シャーリィは助けられない
そうだろ?
……少し見ない間に変わったようだな
…
おやおや～雪解けですか～?
素直じゃないなぁ～
うっ
…歩けるか?


俺達に助けられるのが嫌ならそれでもいい
だけどここを出るまでは一緒にいよう一人じゃ危険だ
おっ セネセネやっさし～
…別に
ふわ
ぱあっ
ほいっ
!


おお〜
癒しのブレスか!!
あんた
ワイにもちょちょいっとかけてくれんかの!?
え〜バカ山賊にい!?
バカ言うなっ
ギャギャ
あんたが…シャーリィのお兄さん？
そうだ
シャーリィが何者なのか…知ってるの


……ああ……
だけど シャーリィが何者か なんて関係ない
シャーリィは 俺の大切な
妹だ


あの子と同じこと言うのね
俺は昔…シャーリィの村に住んでたんだ
えっ!?
ぎゅ
だからってわけじゃないけど水の民の…何か力になりたいって思ってる


…信じてくれ
……
結局雪花の遺跡に行くことになるのか
なんだか後手後手になっちゃってるね〜


さっき セネルさん達にも ヴァーツラフ軍の 目論見をお話し しましたが
抜けるなら 今のうち ですよ
それから あなたは いつまでついて くる気ですか
モーゼスさん
オイ セの字!!
セ…?
あの嬢ちゃん… 助けにいくんか
当たり前だ


そうか…
大切な家族じゃもんな…
モーゼス？
ようしっ
ワイも一緒に行っちゃるわい!!
えええええええぇぇぇぇえええっ
信用できるのか？
あいつらにはでっかい借りがあるからのう！
敵の敵は味方じゃ！


――セの字…
ワイも手伝うちゃる！
こないだのことは水に流して仲よくやろうや！
嬢ちゃん…絶対助けんぞ
モーゼス…
すっ…
おお…


?!!
何すんじゃいワレェエエエエッ
やかましいっ
何きれいにまとめてんだ!!
元はと言えばお前がシャーリィをさらうのが悪いんだ!!
だああから水に流せっちゅーとるじゃろ!!
懐の小さい男じゃのう
あー…
流せるか!!!
ウヒーッ


はぁあー
ついてくるのか…
…やはり心配だ
ビュオル
…?
ゴオッ
!!?


――何…
!!!
セネル!!
セの字
薄汚い陸の民が…


ザッ
これ以上メルネスに近づくな
──死ね



Chapter.11 水の民




Chapter.11 水の民


誰だ!! お前は!
青い瞳…
金色の髪
「水の民」かっ!?
――…〝デル・クェス〟


来たぞ!!
そうは させるかいっ!


!!?
バサッ
何アレ…っ爪術なの…!?
まるで生きているようだぞ…!


ちょっ
ちょっと…
お前は下がっていろ
す…
まっ…
待ってよ！


――待ちなさい
ワルター……落ち着け


彼らに危害を加えてはならん


…マウリッツさん…！
クーリッジの知り合いか？
俺が住んでいた水の民…
煌髪人の村の長だ
久しぶりだね セネル君
村が襲われて以来だから
3年ぶりか


生きていたんですか…!
セネル君もよく無事で
状況はだいたいわかっている
彼が報告をしてくれていたのでね
おおっ
まさか…本当に煌髪人なのか!?
元創王国を築いた古代文明人…こんなに…
「陸の民」というのは?
我々は諸君らをそう呼んでいる


我々の仲間を助けてくれたようだな
感謝する
フェニモールだったね？
は…はい…
……
…助けてくれたことにはお礼を言います
あ…ありがとう


さて…
どうやらシャーリィ救出に何度も失敗しているようだね
シャーリィ達を助けるための策を我々は持っているが
協力する気はあるかね？
なんだって!?
協力じゃとぉ!?



諸君らに その気があるのなら ついてきなさい
……
…どうする？
ついてって だいじょーぶなわけ？ 「死ねー」って 言ってたよ？
警戒すべき だろうが…
黄金の髪に あのワルターという 男の不思議な爪術…
信憑性は それなりにある
それに…
……
ついていこう
マウリッツさんは 敵じゃない 力になって くれると思う


貴様
…!
お前は…
……俺は貴様を許さん


メルネスを
苦しめる…
貴様を！
…なっ
俺が
シャーリィを？
おい　お前！
どういうことだ！


……
なぜ殺させない
何を言うワルター
彼は「シャーリィ」にとってなくてはならない存在なのだ
彼には
力になってもらわなければ


ここは我々の住処だ


普段は結界で入口を隠しているから見つかる心配はない
ゆっくりしていくといい
外からまったく見えないとはな
水の民が噂や伝説の中の種族なわけだ


おおおおおおお…っ
これが古代文明人の現代における住処か！
うーむ 実に！ 実に興味深い…！
うぉおお
材質はなんだ!? 見たところ我々の建築法とは大きく異なっているようだが何か独特の技術が
やはり遺跡船の建造物と似通っているところがあるな
おおおおおおおおお
おーいウィルっちー 行くよー 何してんのー 戻ってこーい


そういえばレイナードは博物学者だったな
血が騒ぐんだろう
へー そうなんだ…博物学者ねぇ…
全然見えないの
おいっ
シャーリィを助けにいくんじゃないのか！
雪花の遺跡に行くと思っていた人
……
もちろん助けにいくとも
だが安心しなさいシャーリィはまだ安全だ
殺されることはない


それよりも確実に彼女達を助ける策が必要だ…そうだろう？
かけてくれたまえ
いやーどーもどーも


――さて
あまり時間がない
話を進めさせてもらおう
諸君らはこの船はメルネス以外には自由に動かすことができないと思っているが
実際のところは少し違うのだよ
メルネス以外でも船を自由に動かせる施設がこの船には封印されている
その封印は雪花の遺跡で解くことが可能なのだ
メルネスの力を利用して…な


……！
…なんということだ…！ならば一刻も早くシャーリィを救出しにいかなくては…
ガタッ
時間はないが…焦ることはない
雪花の遺跡の封印に関してはもう手遅れだろう
何故わかる？
我々の仲間が軍隊の監視をしている


彼らはもう遺跡に到着し準備を開始したようだ
真に恐ろしいのは封印を解かれることではない
封印を解かれ遺跡船の兵器を使用されることなのだよ
兵器？


『滄我砲』
ひとたび放てば山をも消滅させる威力がある
なっ…
彼らの目的はそこだろう
この船の〝主砲〟だ
メラニィが言っていたのはその兵器のことでしょうね
その兵器を使われるまでは
シャーリィ達は無事だろう


までは…って
どういうことだ
滄我砲は…我々水の民の命を使って放たれる
!!!
記録には滄我砲を1回発射するたび
多くの水の民が命を散らしたとある
……




Chapter.12 ステラ
我々もあの兵器が使われることだけはなんとしてでも避けたいのだよ
……
ここまで大きな話になっては源聖レクサリア皇国が黙っていないんじゃないですか？
源聖レクサリア皇国ってなんじゃ？
はあ!?
レクサリアを知らないなんて大丈夫ですかあなた!?
ああもうこれだから頭の足りない山賊はっ
ジェー坊！ちょ〜っとあっちで二人きりで話しようか!?



大陸中心部にある王制国家だ
その国力は周辺諸国より抜きん出ていて世界最強と目されることも多い
遺跡船がどの国のものともされず今まで安置されていたのはレクサリアの力が大きいとは聞くが…
でーもー その兵器ってのをヴァーツラフが手に入れちゃったら
レクサリアでもまずいんじゃないの?
そうなる前に手を打つべきですね
――ウィル君


我々は君の後ろ盾にあるレクサリアの軍兵に協力を要請したいと思っている
!!!
レイナードの後ろ盾だと!?
……どのみち報告にはいかねばなるまい
オレは一旦ウェルテスの街へ戻る話はそれからでも構わないか?
構わない…滄我砲の封印が解かれてから…三日
そうだな…三日以内に準備を整えたい



──全員で行きましょう
証人は多いほうがいい
えっ 何
あたしらも!?
どういうこと
なんだ…
歩きながら
説明する
ぽよぽよ
シャーリィ…
セネル君
今のうちに
話しておこう…
君にまだ
言っていなかった
ことがある



カッ
血のにおい…
今まで何人もの煌髪人を使ってきたが
やはりメルネスでなければ駄目なのだ
ペシュ
!?
使ったって…!?
殺されたのよ
あいつらに


カタカタカタ…
―――い…
…酷い…
酷い！
どうしてこんなこと!!
ガッ
ふはははははっ
威勢のいいことだ
お前の姉はもっとおとなしかったぞ


――!!
お姉ちゃんも…
あなた達が…
殺したんですか!?
「彼女」は水の民の中でも
とても強い力を持っていた
ゆえに現在 奴らに
メルネスの代わりとして
利用されているのだよ
現在…って
誰の…ことだ
言っただろう
シャーリィ「達」
を助けると
殺した
などと…
誰が言った?
カッ


まさか…
まさか…っ
さあ
感動のご対面だ…


お姉…ちゃん…？
Chapter.12 ステラ


ステラ…
ステラ！
村が燃えてる！
どうして!?
見つかってしまったのね…
!?
村は結界で守られてるハズだろ!?
セネル


私はみんなと一緒に戦う！
セネルはシャーリィを連れて逃げて！
後で必ず追いかけるわ
セネル…あなたも必ず逃げてね
あなたはシャーリィにとって…ううん
私達にとって
とても大切な――…
――ッジ


はっ
クーリッジ！
あ…
大丈夫か？マウリッツ殿に話を聞いてから様子がおかしい
あそこで待っちょったほうがよかったんと違うか？
ウェルテスまではまだ歩く…戻るなら今のうちだぞ
大丈夫だ
ああっ
足が疲れたな～あ！
あたしもう歩けない…っ
お…おい…


まもなく内海港に出る
そこまで行けば少し休めるだろう
おいっ
俺は大丈夫だって言…
休憩だ



生きてる？ステラが!?
3年前 生きたまま ヴァーツラフ軍に 捕らえられ
この遺跡船の どこかで今も 生きている
どうして… どこに!? …3年間も…
どうして 俺は…
セェェェェの字ィイイ
モーすけ？
ドゴォ
ぶっ


ぼっしゃあああっ
ぶ…ぶはっ
何するんだ!!
せっかくの休憩時間じゃあ! 泳ぎ勝負といこうや! セの字!
は はあ!? それじゃ休憩になってな――…
ほーれほれ マリントルーパーが聞いて呆れるのう!
ばしゃばしゃ
ムカッ
……後悔するなよ!


18戦18勝
だな
まだやるか?
ぜェ ぜェ
くっそぉおおお!
ワイの負けじゃ!
認めちゃるわ!
マリントルーパーの名は伊達じゃないっちゅうことか
はー
当たり前だ
山賊になんか負けない――…
オウ
その調子じゃ!
ぱんっ
いて


へーホントだ
泳ぐの上手いんだ〜
セネセネ!
ちびーっとだけ
見直した
ちびっと
だけかよ
羨ましい…
ん?
あっ
あああ
いやっ
その…
クーリッジは
昔から泳ぎは
得意だったのか?
セネル!
ぷはっ
もう降参だ!
競っても勝てる
気がしないよ
やっと追いついた…
ステラもシャーリィも
速すぎるよ…
えへへ…
あら諦めちゃって
いいの?


ふふっ
この村じゃ自分より泳ぎの下手な男の人誰も相手にしないわよ
負けたくない子がいたんだ…
え？
そろそろ船が来るぞ！
船着場まで少し急ごう！


灯台の街
ウェルテス
なんだか久しぶりな気がするな
あの時はあちらこちらで散々引っ掻き回してくれたものだ
ふふ
まさか一緒に行動することになるとはな



オレは先に話を通しにいってこよう
くれぐれも！問題は起こさないように
わかってる
話を通す…とはどういうことだ？
レクサリアの軍兵が遺跡船にいるとでもいうのか？
この街でそれっぽい人は見たことないけど——


ん？
ぬっ
のわ〜〜っ!?
い…っっ
何…


ちょっとあんた達！
さっきの男とどういう関係なの!?
はぁ?!
ちょん
さっきの男…? ウィルさんですか?
さては愛人!?
わかったヒモでしょ！
ヒモなのね!?


あああ…愛人!?
ヤァァ
クロエお前ってウィルの愛人だったのか?
ピシノロッ
意味わかって言ってんのあんた?
なんじゃいワレ?
きゃんきゃんとやかましいのう
ひょいっ
!!!!


きゃあああ!
ちょっと離しなさいよ!
変態!
誰かー!
痴漢よおお
なんじゃ なんじゃ!? 怯えることないじゃろうが…
…ってだぁれが変態じゃあっ
モーすけがそんな恥ずかしい格好でいるからじゃないの?
まあ…
裸だしな…
相当恥ずかしいですね 一緒に歩きたくないですね
服の1枚や2枚でガタガタぬかすな
おいっ こっちだ
女の子が乱暴されてる!
ほ!?



あっ こいつ…
前にウィルさんの家を荒らした山賊だぞ！
モーゼスか!?
取り押さえろ
ぎくっ
あっ こいつも！この間 街のど真ん中で喧嘩してた男じゃないか!?
ひっ捕らえろ!!
ちょっとクー なんとかしてよ～
そんなこと言われても… この人達 思ったより力が…
あたしはかんけーないってば！
こら！変なとこ触るな!!
わちゃ
わちゃ


……何をしているんだお前達は…
こっちが聞きたい…
帰って早々問題を起こすとは…
やはりまだまだオレは甘かったようだな
ちょ…ちょっと待て！俺は…


陛下には取り成しておいた
まもなく謁見できるというのにお前達がこれでは…
へ…陛下!? レクサリアの聖皇陛下が遺跡船に来るのか!?
来るも何も…
おやおや にぎやかね ウィルさん


ウィルさんのお友達はこちらの方々？
マ…マダム・ミュゼット!?
何故ここに!?
ごめんなさいね
玄関をノックはしたのだけれど
返事がなかったので勝手に通してもらったの
放してあげてはいかが
街中で暴れたとはいえ元は誤解だったのでしょう？
しかし…
あなたの真面目なところはとてもいいところだわ
でも今は緊急事態…そうでしょう


レイナード…
このご婦人は…
命令です
その者達を解放し 私の家へお連れなさい
ガチャ


今ここにいる者達はすべてレクサリアの正式な軍兵達
そしてこの方こそ源聖レクサリア皇国ミュゼット聖皇陛下だ


はじめまして
皆さん
話はウィルさんから聞きました
あなた方のお話
ゆっくり聞かせてくださいね


ギッ
バッ


Chapter.13 滄我砲（そうがほう）


ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
オウ！
ギート！
ハッ
ハッ
そいやその子
いつの間にいなくなってたの？
ハ
ハッ
ワレは会議とやらに参加せんでもええんか？
子分どもにワイの居場所を伝えてもらっとったんじゃ
ワレらと行動するっての
だってさ〜


どうしてだっ！
先ほど陛下がおっしゃったとおりだ
我々にはクルザンドと戦う理由がない
兵は出せない


水の民の長なる人物は私達に「レクサリア皇国の軍兵」として協力を要請してきました
これは難しい問題よセネルさん
この船はどこの国のものでもなく誰が主権を主張することもできないの
でもそれは明確な各国との条約に基づくものではないわ
我々がこの船にできることは最低限の秩序を保ち無法地帯化を避けること…ただそれだけなの
レクサリアの名前を伏せてね
兵を置いているのも有事に備えてのこと

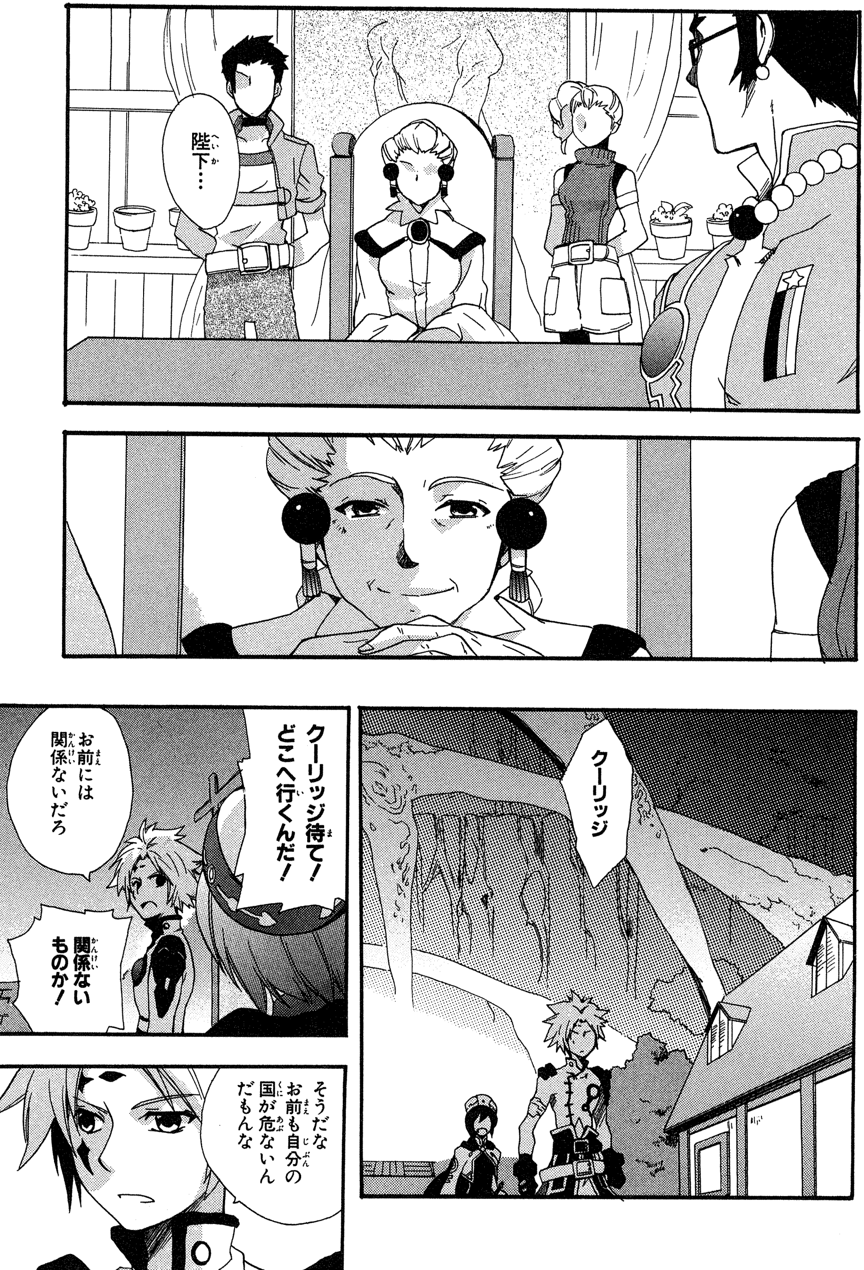

つまり何かあるまでは動かないと…
そういうことですか
我々がひとつの国としてヴァーツラフ討伐の兵を出せば
間違いなく国際問題に発展するわ
お待ちください陛下!
おっしゃることはごもっともですが!
レイナードからの報告で事情はご存知のはずです
セネル?
もういい時間の無駄だった
何かあってからじゃ…遅い


有事に備えてだって⁉
あんた達はそれでいいかもしれないが
ヴァーツラフが遺跡船の兵器を手に入れたら真っ先に被害に遭うのはクロエの国だ
命を落とすのは…兵器のために命を削られるのは水の民だ！
セネル！どこへ行く！
俺が行かなきゃ誰がシャーリィ達を助けるんだ‼
セネセネぶちキレてんね


あれ…
あの子
ピクッ
シャーリィ達は
水の民をただの道具としか！人とも思ってないやつらに捕まってるんだ！
俺達のためだけじゃないきっとたくさん傷つきながら
逃げないでたった二人だけで



俺一人だって…絶対助けてみせる
……
クーリッジ！
はっ
ガキャ
ぱっ


陛下…
クーリッジ
クーリッジ待て！どこへ行くんだ！
お前には関係ないだろ
関係ないものか！
そうだな お前も自分の国が危ないんだもんな


ぱんっ
ぎょっ
馬鹿にするな！ 自国のことはもちろん心配だ
だけど
それだけが…今まで私がお前に協力してきた理由だと思うのか!?
確かに私が遺跡船に来た理由は別にある
だけど…私だってシャーリィが心配なんだ
おっ 修羅場？ 修羅場かな
押すなっ


私は
シャーリィの家族ではない…一緒に過ごした時間もわずかだ
お前と同じ気持ちというのは…説得力がないかもしれないが…
俺は


シャーリィは
俺の…本当の家族じゃないんだ
えっ
……
シャーリィには本当はステラっていう姉がいる
二人とも優しくて


家族のいなかった俺を…本当の家族みたいにしてくれた
俺がシャーリィやステラに初めて会ったのは12歳の時だ
「メルネス」って言葉は知ってた
すごく恐ろしい存在だって聞いてた
シャーリィに会ってしばらくしてからシャーリィがメルネスだって知ったんだ
全然…俺達と変わらない普通の子供だったから驚いたな


恐ろしいどころか
虫一匹殺すのだって
かわいそうだって
言うんだ
おかしいだろ
シャーリィと
ステラを
戦争の兵器に
利用なんて
させない
そのために
死なせたりなんか
絶対しない


一緒に…来てくれるのか…？
…!?
すっ
お前がどこの国の人間かは知らないが
こういうのは万国共通だろう？


――決まりだな
私も行くぞ
ああ
ちょっと待てえええ～っ


ノーマ！
モーゼス！
水臭いじゃん！そーゆーハナシならあたしらも混ぜてよ！
ワイも行くぞ！大人の事情だか政治的問題だか知らんが
カヤの外おん出されてすます気はないわ
お前達…まさか盗み聞…
いやいやいやそんなそんな人聞きの悪い〜〜！
まー お国さまが協力してくれないのもわかるけどね
あたしらはあたしらの理由で動いたって文句は言われないよね
お前の理由って？
ムッ
これよこれ！
あたしはリッちゃんにこの石の正体を聞くという使命があるのだ！


なんじゃそら
それ シャーリィが つけていた ブローチか？
まだそれに こだわってたのか
シャーリィに 変なあだ名を つけるな！
この石
このトレジャーハンター ノーマ様が長年探してる 「エバーライト」っていう お宝にすっごい 似てるんだよね
そんな名前じゃ なかった気が するけどな… 確か——
ずいっ
シロートには わかんない だろうけど！
このあたしの目に 狂いはないわ この石 絶対に…
あっ


お前達！
どうしてウェルテスに？
ここは…
陸の民の長にマウリッツさんからの書状を届けにきただけです
同盟を希望してるってね
あたし
あなた達が嫌い！
陸の民が大っ嫌い！
マウリッツさんはあなた達と協力したいって言ってるけど
あたしはあなた達のこと信用していません


でも…
人それぞれだって言ったの
あの子が
そう言ったシャーリィのことは…
あたし信じようと思います
……そうか
ありがとうフェニモール


べ…別に礼を言われることじゃ…
で書状は届けたの？
はい…明日までに返事を出すそうです
もう一度ミュゼットさんに会いにいこう


会って
力を貸してくれる
ように頼もう
どうしても
駄目なら
俺達だけで
ヴァーツラフを
倒しにいく
クーリッジ
だけど相手は
大勢の軍隊で
その上ヴァーツラフや
トリプルカイツの
強さは半端じゃない
なるべく
たくさんの人の
力を借りたい
今度こそ
絶対に助け
出さなきゃ
いけないんだ

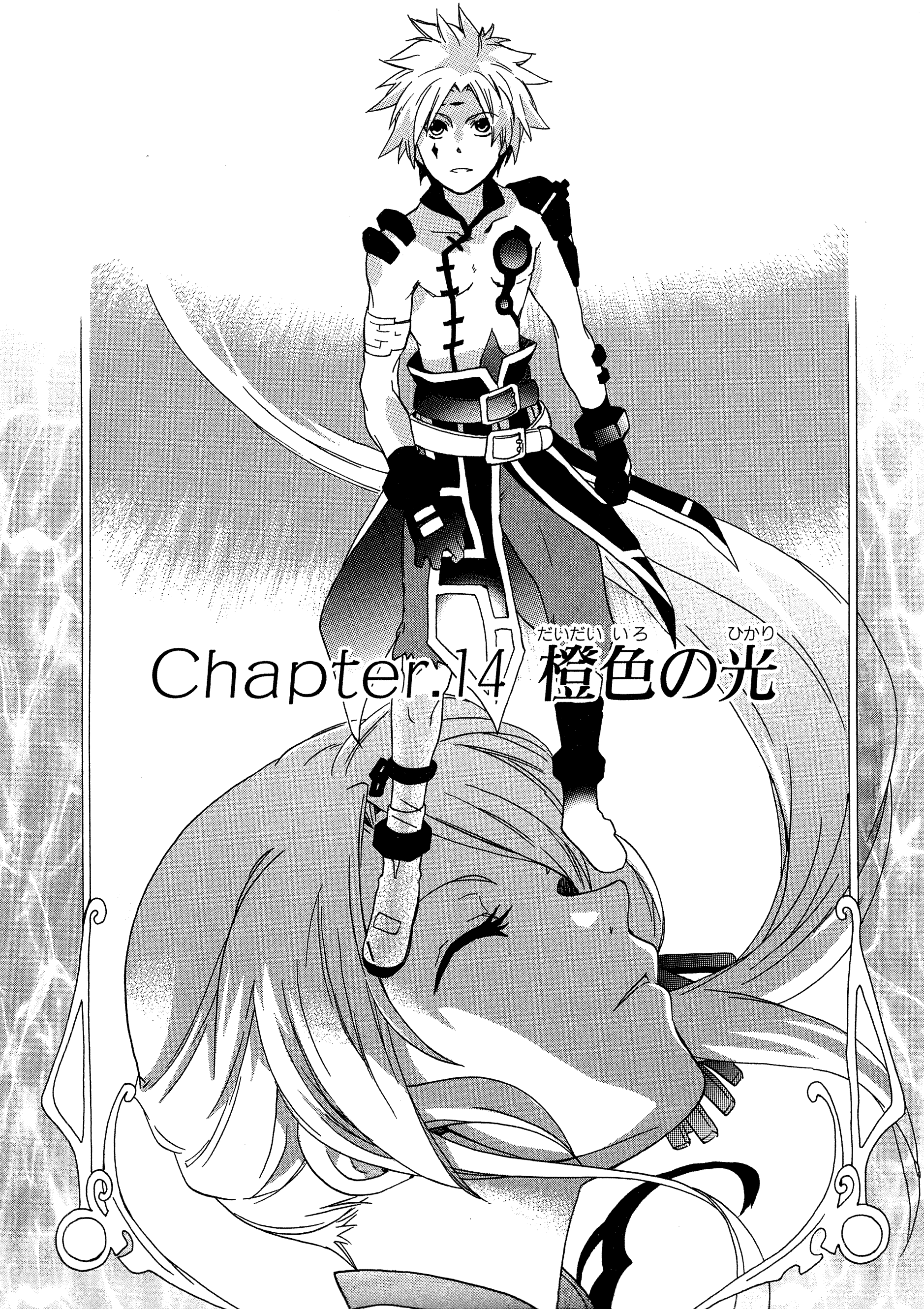


オウッ
もちろん！
その通りだ！
よし すぐに 行こう
フェニモールと ワルターも 一緒に来てくれ
わかりました
勝手に行け …指図は受けん
その必要は ないわ
！


!
なっ…
ミュゼットさん…？
ウィル!?



Chapter.14 橙色の光


Chapter.14 橙色の光


ぱち
ぱち
ぱち
ぱち
ぱち
ぱち
すばらしいわ
あなた方のお気持ち
確かに見させてもらいました


どういうことだ？
まず嘘をついたこと謝りましょう
嘘？
私はあなた方を試すつもりだったの
我々が同盟を組むか否かは先ほどの時点ではまだ決定していなかったのよ
異なる国の面々
そして異なる種族である水の民
どれ程の決意で戦いに挑むのか見極めさせてもらったわ

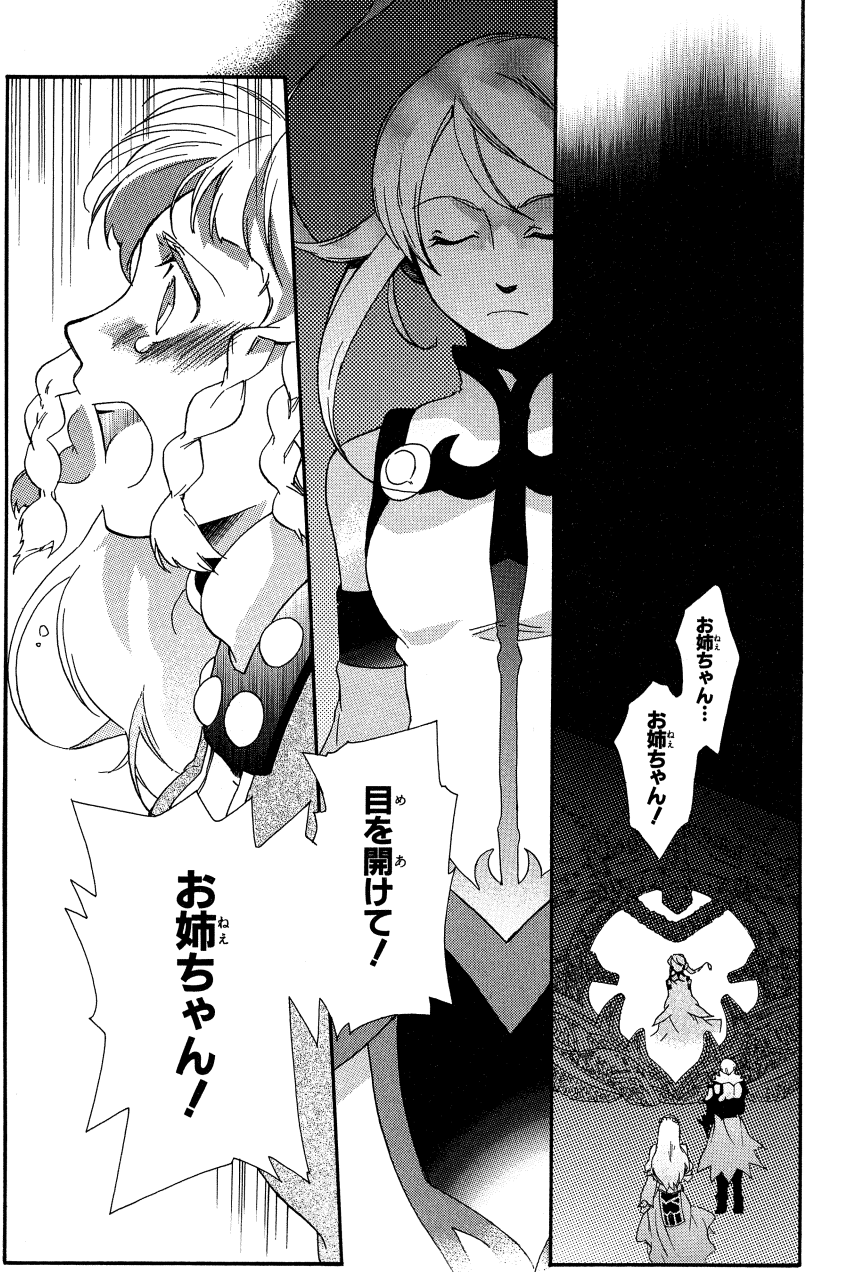

よほど信用に足る者でなければ聖皇たる私が動くことはままならないの
自国のことを考え国の兵を動かすことができないのは本当よ
私は聖皇として正しく判断し国民を守る義務があるのだから
…許してね
ありがとう…信用させてくれて
じゃ…じゃあ…
あなた達を窺っている間に準備を整えさせていたの


明日
遺跡船を我が物とし
兵器を手にしようとする
ヴァーツラフ軍討伐のため
遺跡船内に潜在する
我が源聖レクサリア皇国の
兵士達が


共に戦いましょう
やっ
やったじゃんセネセネ♪
ヒョオオオオオオ 勝てる！ 勝てるぞォ!!


ワイらだけじゃない！煌髪人もレクサリアの奴らも
みんなの力が合わされば もう負けんぞうっ
力を合わせて…
ウィル…


――騙しているようで悪かったな
コホン
まだまだ不安の残る面子ではあるが
お前もずいぶん成長したようだしな
心配ないだろう
今度こそ
今度こそ必ず助ける
シャーリィ…ステラ!

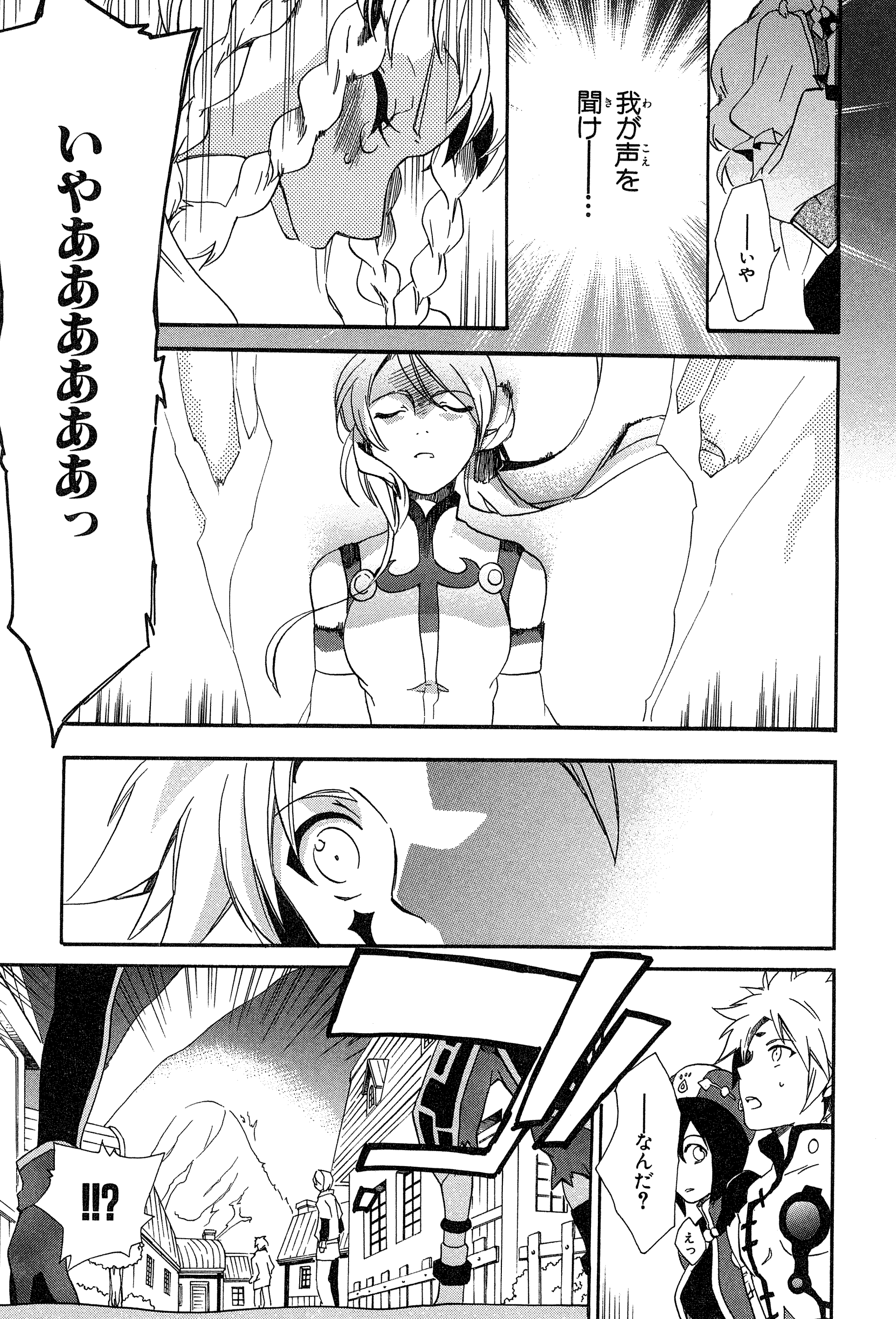

お姉ちゃん…
お姉ちゃん！
目を開けて！
お姉ちゃん！


無駄だ
3年前からずっと眠ったままこの状態だ
!?
生きてるの!?
お姉ちゃんは生きてるの!?
そのとおりだ
貴様を助けるために身代わりとなり
生きたまま我が軍の手に落ちた
確かに他の煌髪人どもより格段に強い力を持っていた
しかし真にこの船を目覚めさせるには
やはり本物のメルネス!貴様の力が必要なのだ


どうしてこんな…
酷いこと…
お姉ちゃんを返して…!!
はは！
この船さえ手に入れば我が軍が世界の覇権を握ったも同然！
クルザンドの王位につくのも私だ！
誰にも邪魔させせん！
すべての者が私の前に平伏す世界になるのだ
想像するだけでこれほど愉快なことはないだろう
ははは
はははは
ははは


そんなことのために…わたし達を…
水の民を苦しめて…
あなた達なんて…
みんな——…
わたし今——…
陸の民などなんと愚かで醜いことか！


！
きゃあ
そうだ その力だ！
きゃ
さあ 力を見せてみろ
声を――



――いや
我が声を聞け――…
いやあああああああっ
――なんだ？
えっ
!!?



ゴッ
ギャァ
ブシュ…
ウアアアアア
オオ


ゴゴ…
ゴ
ザァァァ
ゴオオォ


ざゎ
ざゎ
ざゎ
な…っ
なんじゃあ ありゃ!?
滄我砲…
おい 陸の民の女! 俺達と同盟を組むことに合意と取っていいんだな
ええ… そうお伝えして
しゅるっ


この街から真っ直ぐ内海を船尾目指して渡れ
きゃ
俺達もそこで待機している
バサッ
な…なんだあれ…
ざわ…
魔物…か!?
あれが遺跡船の兵器を操れる煌髪人…!?
化け物…



ああ〜!
また!
あの羽ずっる〜い!
ノ…ノーマ?
便利そうだよねえ?
ねえねえ
そう思わないアレ!
あ…ああ…
ガサッ
そうと決まればすぐ出発しましょう
移動は小型船でおこなってください
ヴァーツラフに気付かれては元も子もない
こいつも立ち聞きか



さっきの地震で遺跡船の一部が浮き上がり
水面下にあった部分がいくつか陸地に変わりました
サァァ
ワルターが指定した場所の近くは先程まで湖でしたが今は大きな平原になっています
主に陸での戦いになるでしょう
兵にはそのつもりで準備させてください
ほう…
あなたは?
ただの情報屋です
ああ あなたが



陛下増援を呼びますか?
無理ですよ
上を見てください
ザァァァァァァ


ゴオオオオオオ
なんだ…
う…動いてる
遺跡船が動いてるぞ！


動いてるって？
遺跡船は元から勝手に航海してるんじゃないのか？
こんなに速く航行することは滅多にない
そうだ
まるで「光の柱」が出たあの時と同じ…
メルネス以外でも船を自由に動かせる施設があるとマウリッツさんは言っていました
封印が解かれたことによってヴァーツラフが船を動かしているとみて間違いないでしょう
目標はおそらく——…


聖ガドリア王国か!
クーの祖国…だよね
この速さで動かれては遺跡船の外部から船を乗り入れることはできない
よって増援は望めません
でもそれはあちらも同じです
この船は完全に閉じられました
今あるコマでどう攻略するか…ですね


あ
内海を渡る時は注意してくださいね
多少なりとも荒れているでしょうから
わかったわ
そのように伝えて
はっ
あなたのお名前は?
…ジェイです
ジェイさん…
今回の作戦の参謀あなたに任せていいかしら
!?
話は聞いているわ
あなたや水の民の方のほうがきっとこの船に詳しいでしょう
遺跡船を守るために協力していただけないかしら

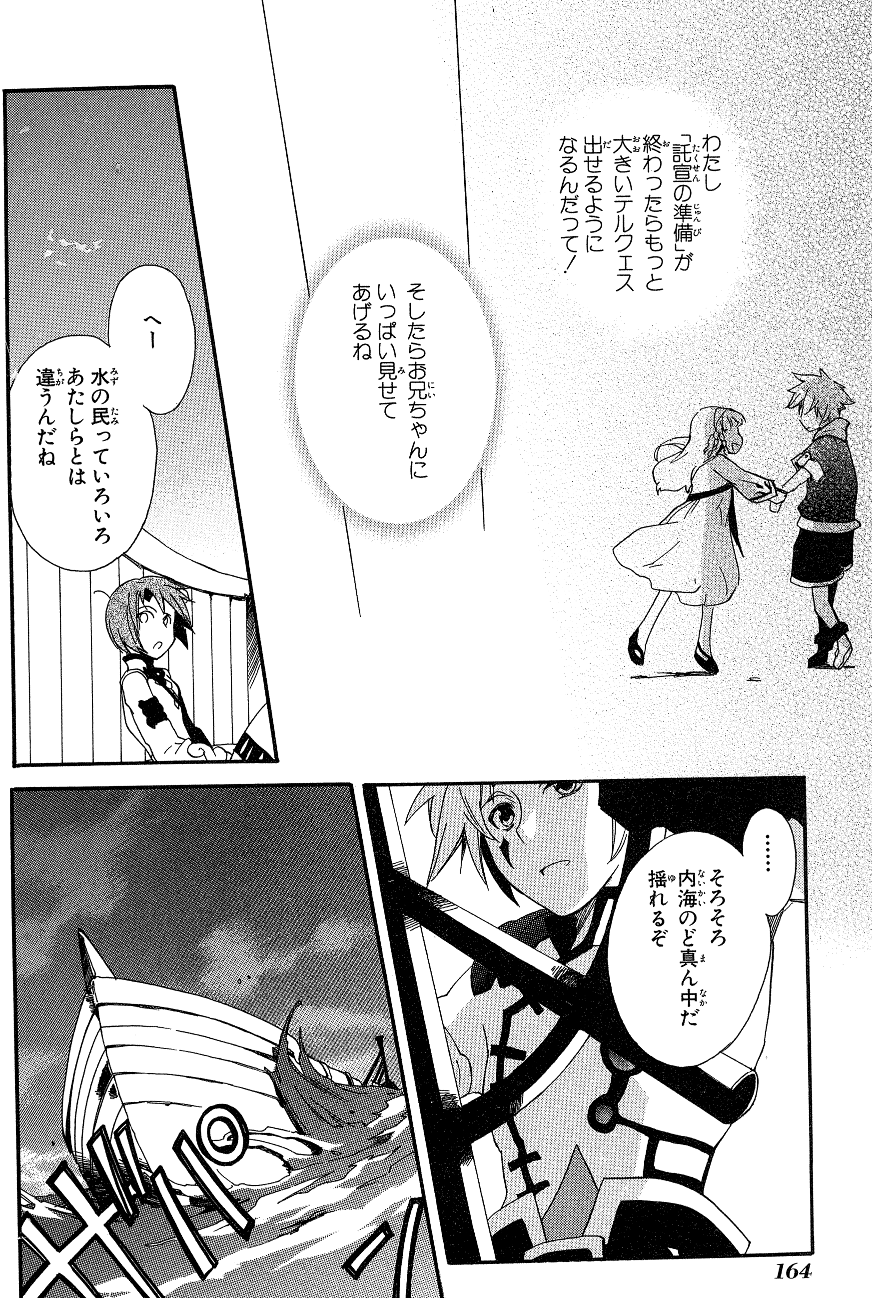

…わかりました
引き受けましょう
作戦は船で渡る間に用意します
なるべく急いで兵を集めてください
今の遺跡船の位置からガドリアまで…滄我砲の射程距離があると考えて…時間があまりありません
ざわざわ
ぼくたちはぼくたちで向かいましょう
セネルさん船の操縦お願いできますね
あ…ああ


よおおおっしゃああ!!
暴れちゃるぞおおおお!!!
ワイも子分どもを呼び寄せちゃる!
ああ その必要はないですよ
なんでしょう?
あなた頭数に入ってませんから
んなっ
ぬかせ こんのガキッ ワイの力を使わんでどうやってヴァーツラフと戦う言うんじゃ
頭の悪い人には通じなかったみたいですね


作戦を邪魔するような
バカ山賊は
頭数に入っていないと
言ったんですよ
ビキビキッ
はー
まだ根に持っちょるか…ケツの穴も身長もガキンチョじゃのう
……何か言いました？
ギャーギャー
仲がいいな…
よし
俺達も向かおう
今度こそヴァーツラフを倒すぞ


そういえばさー
ワルちんが使ってたあの術って一体なんだったわけ?
わ、わるちん?
ワルターのことか?
親しげに呼ぶのやめい
羽の生えた魔物のようだったな
あれは「テルクェス」だ


水の民は
みんなあの力を
持ってるんだ
…って聞いた
形も色も
それぞれ違う
ものを持って
るって――…
わあ
すごい
それ…
ステラの力なのか?
ええ
ステラのテルクエスは
オレンジ…
シャーリィは青か
シャーリィは
まだ小さいな
子供だからな
ぷ


わたし「託宣の準備」が終わったらもっと大きいテルクェス出せるようになるんだって！
そしたらお兄ちゃんにいっぱい見せてあげるね
へー
水の民っていろいろあたしらとは違うんだね
……
そろそろ内海のど真ん中だ揺れるぞ


――ここに光の柱が現れたのだったな
数日前のことなのにもうずいぶん昔のことのようだ
そうそう！あたし水晶の森にいたけどばっちり見たよ
ワイもあの光を見て向かったんじゃったな
セの字達の行動をギートが教えてくれたんじゃ
あの時モーゼスが邪魔をしなければな…
まったくです
なんじゃまだ言うかっ
へー
じゃあ あれ全員見てたんだ


俺は気を失ってたからな
そういえば
オレンジ色の綺麗な光だった
彼女は生きています



生きて
我々を
ずっと守って
くれている


………
まさか…
ステラ？


ブロロロロ
番外編（ばんがいへん）
わたしのおにいちゃん
ザザ…
ザアアア
セネセネ元気（げんき）ないねぇ〜
心配（しんぱい）だな…



へ～！
心配！
へ～！
なっ
なんだ…
いやいやいや～
んふふっ～
……
やっぱり嬢ちゃんが心配なんかの
それはそうだろうな
しかしあれだけおとなしいならいいほうだ
前のように突っ走るよりはな
ぴ
ようし！
ちょっくらセネセネを元気づけてやるか！


名づけて！
どっきり！ウキウキ!?
お兄ちゃん…私のために泣かないで！
大・作・戦♡
ザザ…ン


ネーミングセンス最悪ですね
そ そういう問題か?
ほらクー! ちょっと手伝って!
わ 私か!?
なんじゃなんじゃ! おもしろそうじゃのう
港に着くまでには終わらせろよ…
ふう…
シャーリィ… ステラ…


お兄…ちゃん
!?
シャーリィ…!?
ノーマ
お兄ちゃん
元気出して!
私 いつだって
お兄ちゃんの
そばにいるわっ
クロエ
はぁあああっ

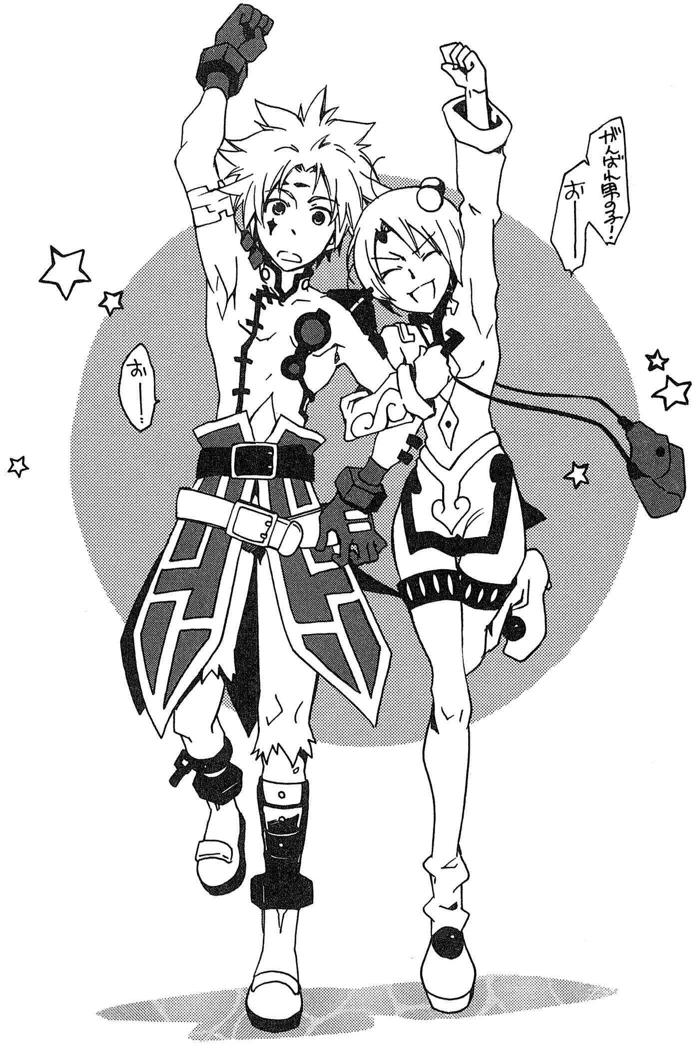

ほろほろ
大好きなお兄ちゃんが辛そうにしてるとこなんかシャーリィ見たくないっ
帰ろうかな…
すまないシャーリィ…
シャ…
…シャーリィ…!
とうとう心配のあまり幻覚が見えたか…
ふぅ
おいいいいいっ
無視するなあっ
ずれてるぞヅラが…
ふっふっ
大事な妹を無視するなんてお兄ちゃんひどいっ
……なんのマネだ…
ぐすっ
癒された?
癒されるかっ!!
なんだよその服とカツラはっ
どこから出してきた!? 脱げっ!!
いや～ん脱がされちゃう～っ
セネセネのエ・ッ・チ～♡
アホかっ
賑やかだね
そうですか?
ボクには何も聞こえません


ほらクー！あんたが行けっ
こらさっさと脱ぐなっと
えっわっ私⁉
残る兵力はあんたしかいないいっ
兵力？
なんでもいーから言ったれGO！
GO！
ラっ
えーと…
お…おおお…お兄ちゃん元気出して
クロエ落ちつけ…今のは…まずい…
……っ
ドキッ
コホ…
俺とクロエは同い年だからその呼び方はない
恥ずかしいぞ
あ、なるほど！それもそうだな
はっ
だぁぁぁどーゆーボケだぁっ
この期に及んで‼
ちいっセネセネは妹属性だと信じてたのに‼
うう…もう手ゴマがないわ‼このままでは完敗！
くっ



初出・月刊ComicREX平成18年11月号～平成19年4月号

テイルズ オブ レジェンディア3 おわり



物語もひとつめの佳境に差し掛かりました。4巻ではいろんなキャラが活躍する予定?!です。次巻でもお会いできることを祈って!!!

いろいろサンクス様

☆川さん、Dキッホンさん、大森さん、えくらっち、松岡さん、ナナコ、なつき、じゅんじゅん、吉田さん、かんのさん、4干さん



REX COMICS

テイルズ オブ レジェンディア③

著者　藤村あゆみ
原作　株式会社バンダイナムコゲームス

2007年7月1日　初版発行

発行者　杉野庸介
担当編集　丸山章司
発行所　株式会社一迅社
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F
電話　03-5312-6133(編集)
電話　03-5312-6150(営業)
印刷・製本　共同印刷株式会社
装　幀　WANNABIES

ISBN978-4-7580-6053-0

IDコミックス

ISBN978-4-7580-6053-0

C9979 ¥552E

雑誌 50636-67

定価：本体552円＋税

一迅社

クルザンド王統国の軍隊に連れ去られた
シャーリィを救出するため、
セネルは遺跡船で出会った仲間達と行動を共にする。
旧知のマウリッツと再会したセネルは、
そこで遺跡船の隠された秘密を知ることに…。
出会いと絆〈キズナ〉、
導かれた運命が彼らに与えるモノとは――。

